第2回 災害対応ロボット技術開発研究会 開催報告

県内外20の企業・団体から、計22名の参加を得て、第2回研究会を開催しました。

○日時 平成28年10月26日 (水) 13:00~14:30

○場所 武生商工会館 パレットホールC

○内容 (1) 会員によるドローン研究事例の報告 (㈱原子力エンジニアリング)

(2) ドローン研究開発の提案(県総合政策部電源地域振興課)

(3) 意見交換

(4) 事務局からのお知らせ

(一社) ミニサーベイヤーコンソーシアムとの連携

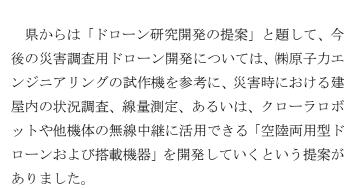
○協議概要

研究会前半では、当研究会の会員である㈱原子力 エンジニアリングより「屋内用防災ドローンに関する 研究事例」を報告いただきました。

研究を進める上で、大地震後のビル内、地下街などの屋内・閉鎖空間において速やかに展開・情報収集でき、かつ、使い捨てても惜しくない低価格のドローンを目指したことなど、開発の経緯について説明がありました。

また、飛行試験などの結果を示しながら、試作1号機での課題(機体の耐久性、飛行時間の延長など)や 試作2号機の改良点について紹介がありました。

その後、実際の試作機を用いて、機体制御システム (地上局、フライトコントローラ)や機体搭載センサ (慣性計測センサ、障害物検知センサ)などの説明が あり、会員からの質疑も行われました。



今後の進め方については、(1) 開発に先駆け、技 術課題解決のための可能性調査を実施し、(2) 改良



㈱原子力エンジニアリングによる説明



試作機に関する説明・質疑



県によるドローン研究開発の提案

点を抽出し、独自仕様を策定・設計、(3) ㈱自律制御システム研究所などの協力・助言の もとで試作開発、改良を進めていく案が示されました。 さらに後半は、研究開発に関する意見交換を行い、参加者からは研究会の活動やドローンの開発・活用に関するご意見をいただきました。(以下は、当日の意見交換とアンケートにおける会員の主なご意見です。)

- ・開発への協力を検討したい。
- ・メーカーとしてどういった研究提案ができるか考えたい。
- ・ユーザーの立場から助言していきたい。
- ・開発に関する詳細な情報がほしい。
- ・新しい技術を情報として取り入れていきたい。
- ・幅広いドローン開発・利用の紹介があると有効。

会員のご意見は今後の研究会活動に反映させていきます。

【研究会に関するお問合せ】

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター 産業育成部

〒914 - 0192 敦賀市長谷 64 号 52 番地 1

Tel: 0770-24-7276 e-mail: sangyo@werc.or.jp

【ホームページに関するお問合せ】

公益財団法人ふくい産業支援センター オープンイノベーション推進部

〒910 - 0102 福井市川合鷲塚町61字北稲田10 (福井県工業技術センター内)

Tel: 0776-55-1555 e-mail: foip@fisc.jp